

教 育

1	概 況	445
2	青 少 年 育 成	446
3	学 校 教 育	449
4	図 書 館	465
5	熊 本 博 物 館	469

1 概況

少子高齢化、価値観の多様化、経済的格差の拡大など、社会は著しく変化しており、子どもたちを取り巻く環境についても、いじめの社会問題化や少年による重大事件、インターネットを通じたトラブルなど、多くの課題を抱えている。また、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている。

このような中、規範意識や社会性、思いやりの心、自立心をはぐくみ、生涯を通して健康で生きがいのある人生を求める意識の高揚とともに、社会の著しい変化に柔軟に対応できる必要な知識・技能の習得と、これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などの育成が重要となっている。また、学校はもとより、家庭や地域の教育力を高め、子どもたちの健やかな成長を支える仕組みづくりが求められている。

こうした背景を踏まえ、平成28年3月に策定された熊本市総合計画の基本計画においては、3つのまちづくりの重点的取組のうち、「安心して暮らせるまちづくり」に具体的な取組を掲げて施策の展開を図っている。

教育委員会では、平成28年3月に、本市の教育、文化及びスポーツの振興に関する総合的な目標や施策の基本となる指針として策定された「熊本市教育大綱」をもって熊本市教育振興基本計画に代えることとした。さらに、本基本計画の策定に伴い、平成28年度からは、「熊本市第7次総合計画」との整合性を図りながら、市長が定めた「熊本市教育大綱」の「施策の基本方針」及び「重点的取組」に関連する事業で実施計画を策定し、進捗管理を行っている。

（１）平成30年度熊本市教育方針

本市教育は、恵まれた自然と先人が築いた伝統文化のもとで、社会の進展に対応する教育を構築しながら、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、「徳・知・体」の調和のとれた次代を担う子どもたちの育成に努めるとともに、市民が生涯にわたって、健康で生きがいと潤いのある生活を営むことができる生涯学習社会の実現を目指す。

このような教育を推進するにあたり、学校・家庭・地域社会は、人間尊重の精神を基本にしながら、それぞれの責任と使命を自覚し、連携して取り組むこととする。

（２）平成30年度教育目標

◎人権尊重の理念のもと、学校・家庭・地域社会における様々な教育活動を通して、社会全体で子どもたちの「社会を生き抜く力」を育成する。

◎多様な教育機能の整備・充実を図り、歴史的文化遺産を継承し、市民の生涯にわたる自発的な学習活動を奨励・支援する。

（３）熊本市教育振興基本計画（熊本市教育大綱）（平成28～31年度）

基本理念

徳・知・体の調和のとれた人づくり ～教育都市くまもとを目指して～

（４）取組の方向

- 1 徳・知・体の調和のとれた教育の推進
- 2 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
- 3 安全で良好な教育環境の整備
- 4 学校教育と福祉の連携の推進
- 5 生涯を通して学び、その成果を地域に活かすことができる環境の整備
- 6 豊かな市民生活を楽しむための文化の振興
- 7 生涯を通して健康に過ごすためのスポーツの振興

（５）重点的取組

- 1 いのちを大切にする心の教育の充実と、いじめや不登校への細やかな対応
- 2 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進
- 3 教員が子どもと向き合うための体制の整備
- 4 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

2 青少年育成（青少年教育課）

心豊かなたくましい青少年を育むため、社会参加活動への支援や青少年育成環境の整備を進める。特に児童育成クラブの充実など、放課後児童対策を強化するとともに、多様な青少年問題に対応するため、青少年センター活動の中で非行防止活動や広報啓発活動を充実させる。

（１）青少年健全育成推進事業

「生きる力」を備えた青少年の健全な育成が図られるよう、地域における青少年の活動を支援するとともに支援体制を整える。

ア 熊本市青少年問題協議会

熊本市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法に基づく本市の附属機関として設置。青少年問題全般に関する協議を行うとともに、関係行政機関相互の情報共有を行う。事務局は本市青少年教育課に置く。

委 員 構 成 市長・市議会議員・教育委員会委員・学識経験者・関係行政庁職員

任 期 在職期間（但し学識経験者は２年）

事 業 内 容 協議会の開催

イ 熊本市青少年指導員協議会

熊本市青少年指導員協議会は、熊本市教育委員会から委嘱を受けた青少年指導員によって、自らの資質の向上と連携の強化を図るため、平成元年５月に自主的に結成された任意団体。

（２）児童育成クラブ

目 的 放課後児童（保護者が労働等により昼間家庭にいない児童）とその保護者に対し、児童育成クラブを開設し、児童の健全育成及び仕事と子育ての両立を支援する。

開 設 日 ４月１日～翌年３月３１日（日曜日・国民の祝日・年末年始を除く）

開 設 時 間 平日：児童の下校時間～午後６時

土曜日及び長期休業期間：午前８時～午後６時

指 導 員 ５７３名（平３０．３．３１現在）

巡 回 指 導 員 １５名（平３０．３．３１現在）

開 設 状 況 （公営）８０箇所５，１５５名 （民営）１４箇所５３２名（平３０．３．３１現在）

※開設時間、指導員、巡回指導員については、各民営クラブにより異なる。

（３）青少年センター活動

ア 業務内容

街頭指導、関係機関及び団体との連携、青少年非行防止に関する啓発活動、青少年指導にかかる調査及び資料収集、青少年に有害な影響を与える環境の浄化、その他青少年非行防止のための必要な事項。

イ 青少年指導員

（平成30年6月1日現在）

区 分	内 訳	人 員（人）
民 間	校区青少年健全育成協議会の推薦	221
学 校	小学校 中学校 高等学校 専修学校の推薦	285
計		506

ウ 指導状況

① 実施状況

年度	25	26	27	28	29
街頭指導実施状況					
年間街頭指導実施回数（回）	931	885	888	831	902
従事した青少年指導委員延人員（人）	4,629	4,395	4,341	3,925	4038
指導した青少年の総数（人）	6,141	4,195	3,397	1,898	1772

② 学職別・行為別指導状況

(単位 人)

学 職 別	行為別 年度	喫 煙	怠 学	遊技施設内 声かけ指導	交通指導	帰宅指導	その他	計
小 学 生	27	-	-	126	3	128	343	600
	28	-	-	62	5	100	3	170
	29	-	-	79	6	38	1	124
中 学 生	27	2	-	492	14	105	64	677
	28	7	1	180	6	128	10	332
	29	-	2	286	20	84	10	402
高 校 生	27	5	1	1,538	36	264	111	1,955
	28	12	6	946	16	212	90	1,282
	29	-	8	794	41	236	40	1,119
そ の 他	27	18	-	84	19	17	27	165
	28	-	-	82	17	2	13	114
	29	-	-	72	25	18	12	127
計	27	25	1	2,240	72	514	545	3,397
	28	19	7	1,270	44	442	116	1,898
	29	-	10	1,231	92	376	63	1,772

エ 小・中学校生徒指導協議会・中学校生徒指導委員会・高等学校生活指導連盟との連携

熊本市小学校、中学校、高等学校における児童・生徒の指導を目的とした調査、研究、連絡調整等を行う教職員組織との相互連携による生徒指導活動を展開する。

オ 家庭環境づくりの啓発事業（健全育成懇談会～地域で育てる青少年～）

“非行防止は家庭から” “家庭づくりは親子の対話から”と言われるように、家庭のあり方が青少年に与える影響は大きなものがある。家庭における子どもの問題を中心に考えながら青少年の健全な育成と明るい家庭づくりについての話し合いの機会をもつために講師、助言者を派遣する。

（４）家庭教育の推進

家庭の教育力向上のため、保護者等を対象にした家庭教育の大切さについて啓発するための学習機会や、情報を提供している。

ア 家庭教育セミナー

家庭教育力の向上のため、主に小・中学生の子どもを持つ保護者を対象に、子どもたちの持つ悩みや子どもとの接し方、また社会的ルールやしつけ等を学ぶ講座を実施している。小中学校やＰＴＡとの連携により、保護者の多く集まる機会等を捉えた開催に努めている。

イ 家庭教育地域リーダー養成講座

ＰＴＡや地域活動に積極的に取り組んでいる方を対象に家庭教育地域リーダー養成講座を開催し、地域の核となって家庭教育を推進するリーダーを育成する。

(5) 青少年教育

子どもたちが様々な野外体験活動等を通して、「生きる力」を育むことができるよう青少年活動（野外活動等）の指導者を養成し、安全で教育的効果の高い青少年活動を推進する。

ア 青少年教育施設

恵まれた自然環境の中で、集団生活を通じて青少年の健全な育成を図るために、小中学校の集団宿泊や青少年団体等を受け入れるとともに主催事業を行う。

① 金峰山少年自然の家

所在地 西区池上町 3071-5

開設年月日 昭和50年10月1日

定員 200人

施設内容 宿泊棟（児童用23室・引率者用2室・バリアフリー1室・バリアフリー浴室）
研修室・体育室・食堂・浴室・保健室・事務室・つどいの広場・野外炊飯場
屋外多目的ハウス

利用状況

（平成30年6月15日現在）

年度 団体名	25		26		27		28		29	
	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)
小学校	96	23,519	96	23,322	86	22,156	87	13,667	70	16,736
中学校	4	303	3	262	10	1,670	3	340	2	240
少年団体	24	1,808	32	2,769	20	1,397	7	719	17	1,148
その他の団体	12	2,933	7	2,146	18	4,200	5	2,506	13	4,015
主催事業	21	2,225	15	1,684	12	1,048	6	338	9	760
合計	157	30,788	153	30,183	146	30,471	108	17,570	111	22,899
稼働率(%)	77.4		77.4		77.3		66.5		60.7	

（注）稼働率(%) = (利用日数 / 開所日数) × 100

(6) 青少年の交流

国内外の友好姉妹都市及び九州内の都市との間で、青少年の交流活動を通して、両市の友好と親善を深める。

ア 国際交流

① 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業

平成27年度：受入、平成28年度：派遣、

平成29年度：熊本地震の影響により中止、平成30年度：再開予定（派遣）

イ 国内交流（平成29年度）

① 熊本市・福井市小学生交流事業

期間 (受入) 平成29年8月3日～6日（3泊4日）

(派遣) 平成30年1月4日～7日（3泊4日）

団員 20人（小学生団員16、役職員4）

② 九州都市中学生交流事業（派遣）

期間 平成29年8月8日～8月10日（2泊3日）

団員 60人（中学生団員52、役職員8）

3 学校教育

現在、いじめの社会問題化、少年による重大事件、インターネットを通じたトラブルなど、子どもたちを取り巻く環境は、憂慮すべき状況になっている。

このような中で、今求められているのは、子どもたち一人一人が「豊かな心」を育み、「確かな学力」を身に付け、「健やかな体」を育む教育、グローバル化の進展や情報ネットワーク社会の到来など社会の変化に対応した教育、さらには、子どもたちが社会の変化に柔軟かつ積極的に対応しながら、より一層、一人一人の個性、能力を最大限に伸ばす教育を進めていくことなどである。

そこで、以上のような視点を踏まえ、子ども一人一人の個性を生かしながら、豊かな人間性や創造性を育むきめ細かな教育を推進するため、平成28年3月に策定した「熊本市教育振興基本計画」に基づき、具体的な施策の展開を図っていく。

また、平成30年3月「学校改革！教員の時間創造プログラム」を策定し、教職員が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもたちと向き合える環境をつくっていくために、教職員の長時間勤務の実態改善に向けた取組を総合的かつ計画的に推進している。

平成30年度の主な事業は次のとおりである。

徳・知・体の調和のとれた教育の推進

- ・豊かな心を育む教育の推進（道徳教育創業支援事業、勤労体験学習事業 他）（指導課）
- ・確かな学力を育む教育の推進（学力向上対策経費、教育の情報化推進経費^{※1}、外国語教育推進経費^{※2} 他）
（指導課、教育センター）

※1 教育の情報化推進経費

2020年度（平成32年度）から全面实施となる新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善や、プログラミング教育の導入が求められており、これらを実現するため、平成30年度から3ヶ年で電子黒板や実物投影機・タブレット端末といった教育におけるICT環境整備を全小中学校で進めている。

※2 外国語教育推進経費

外国語指導助手（ALT）の増員し、グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方を実現するための体制を整備する。

- ・健やかな体を育む教育の推進（子どもの健康づくり・体力向上推進経費、学校給食・食育推進事業、夏休みプール開放事業経費、給食提供支援事業 他）（健康教育課）

子ども一人ひとりを大切にする教育の推進

- ・教員が子どもと向き合う時間の拡充（学校教育コンシェルジュ設置経費、学級支援員派遣経費、管理職リーダーシップ向上経費 他）（総合支援課、教育センター）
- ・教育相談体制の充実（いじめ・不登校対策経費、スクールソーシャルワーカー（SSW）配置事業、スクールカウンセラー（SC）配置事業 他）（総合支援課）
- ・特別支援教育の推進（特別支援教育担当者スキルアップ派遣事業、特別支援学校建設事業 他）（総合支援課、施設課）

安全で良好な教育環境の整備

- ・最適な学習環境の整備（（義務教育施設整備事業、施設整備経費、維持補修経費 他）（施設課）

生涯学習社会の構築

- ・図書館・博物館の機能充実（博物館展示整備経費、細川家舟屋形修復等経費 他）（博物館）

(1) 市内学校数 (学務課)

(平30. 5. 1現在)

校種別 区分	大 学	短 大	高 校	特別支援 学 校	中 学	小 学	幼	合計
国	1			1	1	1	1	5
県	1		11	4				16
市			2	1	42 (1)	92	6	143(1)
私	6	1	14		9		25	55
合計	8	1	27	6	52 (1)	93	32	219(1)

(注) () は分校の数を別掲 区分中の「国」は独立行政法人(旧国立熊本大学)

(2) 市立学校児童生徒数 (教職員課)

校種別 区 分	学校数	学級数	児童生徒	教員数
幼 稚 園	6	21	353	44
小 学 校	92	1,658	41,045	2,466
中 学 校	42 (1)	691	19,077	1,352
高 等 学 校	2	42	1,663	115
特別支援学校	1	6	42	22
専 修 学 校	1	7	128	11
合計	144 (1)	2,425	62,308	4,010

(注) () は分校の数 (平30. 5. 1現在)

(3) 児童生徒数の変遷 (教職員課)

年度		26	27	28	29	30
区分						
児 童 生徒数	小学校	40,934	40,790	40,236	40,747	41,045
	中学校	20,332	20,271	19,854	19,574	19,077

(各年度 5. 1現在)

(4) 学校施設の現況 (施設課)

ア 小学校施設の現況

(平30.5.1現在)

番号	学 校 名	児 童 数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校 舎	屋内運動場		
1	壺 川	407	22	15	4,340	594	9,104	
2	碩 台	151	14	8	3,606	594	12,093	
3	白 川	455	27	19	4,287	919	12,908	
4	城 東	215	16	10	4,443	725	15,397	
5	慶 徳	136	22	12	4,267	919	6,563	
6	一 新	375	22	16	4,343	725	12,615	
7	五 福	259	20	12	3,158	804	6,682	昭52. 10
8	向 山	484	27	19	4,120	725	16,652	
9	黒 髪	476	35	19	5,476	796	10,472	
10	大 江	587	27	20	4,543	725	11,724	
11	本 荘	52	10	6	4,082	894	11,533	
12	春 竹	505	34	21	5,442	1,049	15,465	
13	古 町	123	13	7	2,839	532	11,184	
14	春 日	239	16	12	4,348	725	14,224	昭49. 9
15	城 西	713	35	25	6,308	1,170	20,277	昭60. 9
16	花 園	409	20	14	4,892	945	17,199	昭57. 10
17	池 田	471	25	18	4,963	594	12,569	
18	出 水	457	26	18	4,653	826	11,682	
19	白 坪	518	33	20	5,655	945	16,004	
20	画 図	1,016	52	36	6,837	919	17,278	昭54. 10
21	砂 取	466	26	18	4,694	1,119	18,074	
22	健 軍	621	46	26	6,923	945	25,678	
23	清 水	537	36	23	5,738	1,036	16,849	昭49. 9
24	日 吉	421	31	18	5,449	976	15,199	昭55. 4
25	川 尻	506	28	21	5,181	1,049	22,553	昭60. 9
26	力 合	570	33	22	4,987	594	16,836	昭60. 4
27	御 幸	604	34	23	4,935	1,039	18,787	昭52. 10
28	田 迎	485	25	18	4,617	1,203	13,513	昭62. 3
29	高 橋	110	10	6	1,911	666	7,271	
30	池 上	248	19	13	3,704	919	16,088	平元. 5
31	城 山	738	36	26	5,346	924	24,427	昭57. 4
32	託 麻 原	658	33	23	6,552	1,049	21,748	
33	秋 津	519	30	20	4,932	923	16,104	
37	泉 ケ 丘	380	20	15	4,800	919	18,362	
38	小 島	247	23	15	2,853	1,093	12,462	
39	龍 田	662	37	26	5,632	850	14,556	昭62. 8
40	帯 山	826	48	31	6,153	1,069	20,252	
41	中 島	237	16	11	3,058	532	13,529	
42	白 山	581	33	22	5,037	1,049	20,199	
43	若 葉	396	23	15	4,618	1,049	18,784	
44	城 北	492	31	21	5,420	1,017	18,958	昭60. 9
45	尾 ノ 上	730	38	26	5,922	792	21,434	昭55. 11
46	西 原	709	40	25	5,213	792	19,084	昭49. 9

番号	学 校 名	児 童 数	教員数	学級数	建物保有面積（㎡）		校地面積	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校 舎	屋内運動場	（㎡）	
47	高 平 台	604	32	24	5,368	945	26,678	昭49. 9
48	楠	260	19	11	6,324	802	18,318	
49	託 麻 東	1,022	48	35	5,342	725	24,972	
50	託 麻 西	835	44	30	6,587	945	18,873	昭52. 10
51	託 麻 北	530	29	21	4,125	920	16,757	昭60. 4
52	桜 木	431	26	16	6,360	725	20,806	昭49. 9
53	東 町	543	38	23	5,944	0	20,272	昭54. 10
54	麻 生 田	478	30	19	5,218	945	20,193	
55	武 蔵	398	22	15	4,970	945	18,102	
56	帯 山 西	610	33	22	4,318	725	17,965	
57	月 出	499	29	19	5,915	945	24,258	昭55. 11
58	出 水 南	804	37	26	6,004	945	16,287	
59	健 軍 東	290	19	14	5,960	725	21,385	昭58. 3
60	城 南	311	22	15	3,977	725	22,633	昭57. 12
61	田 迎 南	702	37	26	4,169	725	25,702	昭58. 3
62	弓 削	321	21	15	3,011	695	18,594	昭58. 3
63	託 麻 南	982	49	35	7,071	725	21,601	昭60. 4
64	山 ノ 内	590	31	22	5,534	724	28,949	昭61. 10
65	榆 木	507	28	21	3,823	918	18,859	
66	川 上	582	33	24	4,666	745	24,479	
67	西 里	368	25	17	4,373	1,161	35,546	平22撤去
68	北 部 東	667	37	25	4,973	1,337	19,179	
69	芳 野	72	11	7	1,991	797	13,124	
70	河 内	146	12	7	2,890	862	12,417	昭49. 3
71	飽 田 東	513	28	20	3,194	680	12,155	
72	飽 田 南	159	13	9	1,419	680	11,835	
73	飽 田 西	149	12	7	1,507	680	12,072	
74	中 緑	57	9	6	1,559	401	9,738	
75	銭 塘	107	12	8	2,178	378	12,246	
76	奥 古 閑	149	12	7	3,166	680	13,329	
77	川 口	63	9	6	2,272	420	12,066	
78	長 嶺	1,017	51	37	6,326	1,049	24,672	平17. 4
79	日 吉 東	476	28	20	3,798	919	26,118	
80	桜 木 東	544	31	20	3,455	919	26,103	
81	富 合	706	38	27	3,922	919	22,239	
82	杉 上	355	23	15	3,612	802	25,000	
83	隈 庄	694	41	28	4,460	800	15,151	
84	豊 田	243	19	13	3,468	800	23,084	
85	植 木	415	27	18	3,609	919	20,728	
86	山 本	86	12	8	2,581	797	14,595	
87	田 原	101	15	8	2,605	797	23,182	
88	菱 形	243	20	11	3,968	920	22,793	
89	桜 井	291	23	14	4,089	920	24,413	
90	山 東	192	13	8	3,317	922	22,154	
91	吉 松	159	14	8	3,423	919	16,267	
92	田 底	103	13	8	2,721	541	14,577	昭52. 6
93	田 迎 西	693	34	26	6,157	1,226	22,285	
94	力 合 西	611	33	22	4,711	1,199	33,342	
95	龍 田 西	575	32	24	6,333	1,201	23,029	
合 計		41,045	2,466	1,658	413,040	77,923	1,661,494	

イ 中学校施設の現況

(平30. 5. 1現在)

番号	学 校 名	生 徒 数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設 開設年月
					校 舎	屋内運動場		
1	出 水	884	50	27	7, 380	1, 322	25, 654	昭48. 10
2	白 川	611	35	21	6, 137	1, 222	28, 765	昭48. 10
3	藤 園	264	31	13	5, 598	1, 138	22, 788	昭48. 4
4	花 陵	452	33	18	5, 981	994	20, 331	昭48. 10
5	城 南	408	27	15	6, 035	1, 138	24, 459	昭47. 10
6	京 陵	671	41	23	7, 670	1, 222	29, 457	昭48. 4
	清水が丘分校	7	9	1			26, 094	
7	西 山	535	35	19	6, 221	350	29, 968	昭49. 10
8	江 南	237	18	8	3, 514	1, 138	23, 240	昭48. 4
9	江 原	281	28	12	4, 431	981	25, 360	昭49. 10
10	竜 南	320	24	11	4, 886	981	18, 629	昭48. 10
11	桜 山	149	15	5	4, 392	981	19, 596	昭48. 4
12	湖 東	410	34	18	5, 752	1, 138	28, 502	昭47. 10
13	託 麻	977	53	31	7, 028	1, 222	24, 430	昭48. 10
14	三 和	570	35	20	4, 713	981	21, 813	昭48. 4
15	城 西	216	19	8	4, 186	779	13, 784	昭48. 10
16	帯 山	953	56	29	5, 556	1, 277	25, 675	昭48. 4
17	東 野	514	30	16	0	1, 222	19, 304	昭48. 10
18	錦ヶ丘	857	54	29	6, 933	0	20, 062	昭48. 10
19	二 岡	426	28	15	4, 321	770	22, 618	昭48. 4
20	東 部	379	31	16	4, 702	734	21, 422	
21	楠	393	27	14	6, 935	724	24, 570	平20. 3
22	西 原	648	47	23	6, 939	1, 124	29, 588	
23	武 蔵	360	27	14	4, 863	780	22, 407	昭56. 6
24	東 町	389	28	15	7, 620	1, 020	21, 500	昭58. 3
25	出 水 南	542	37	20	4, 792	780	27, 575	昭58. 3
26	清 水	536	36	21	6, 293	1, 222	22, 702	
27	井 芹	282	23	11	5, 312	981	29, 318	
28	北 部	647	42	22	5, 813	1, 261	25, 944	平19. 10
29	芳 野	32	12	4	2, 456	910	31, 550	昭55. 5
30	河 内	73	16	4	2, 993	2, 007	15, 238	昭49. 3
31	飽 田	334	26	12	3, 728	1, 280	15, 260	
32	天 明	169	17	8	3, 916	1, 133	22, 867	
33	長 嶺	958	57	30	7, 165	1, 221	41, 148	
34	力 合	508	37	19	4, 449	981	30, 006	
35	龍 田	604	37	22	5, 056	981	27, 384	平18. 4
36	日 吉	388	30	15	5, 034	981	30, 581	平17. 4
37	桜 木	528	34	19	5, 751	981	26, 307	
38	富 合	269	25	12	2, 254	1, 368	31, 915	昭58. 8
39	下益城城南	555	38	19	7, 206	1, 772	28, 777	
40	鹿 南	309	28	13	5, 171	981	28, 885	
41	五 霊	289	25	12	4, 189	1, 032	25, 798	
42	植 木 北	143	17	7	3, 289	984	26, 208	
合 計		19, 077	1, 352	691	216, 660	44, 094	1, 077, 479	

※清水が丘分校の保有面積については、借用地のみ記載。

ウ 幼稚園施設の現況

(平30. 5. 1現在)

番号	園 名	園児数	教員数	学級数	園舎保有面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
1	碩 台	38	8	3	817	1,272
2	一 新	63	5	3	914	3,143
3	向 山	54	11	3	889	2,943
4	川 尻	45	7	3	788	2,380
5	楠	45	5	3	595	2,197
6	隈 庄	108	8	6	875	3,341
合 計		353	44	21	4,878	15,276

エ 高等学校

市立必由館高等学校概要

創立107年という長い歴史と伝統を持つ高等学校であり、平成13年には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科9クラス（普通科6、国際コース1、芸術コース1、服飾デザインコース1）編制となった。

多様化する生徒の進路希望に対応して、選択授業や少人数学習などを取り入れ、大学進学を目指した教育課程を編成するとともに、多彩な芸術・文化活動、体育活動にも力をいれており、輝かしい成果を残している。正しい判断力と真摯な実践力を身に付けるとともに、国際社会や地域社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に取り組んでいる。

市立千原台高等学校概要

商業高校としてスタート以来62年目を迎えた高等学校であり、平成12年には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科2クラス（国際経済コース1、健康スポーツコース1）、情報科3クラス（OA会計コース2、経営情報コース1）の二つの学科を持つ高校となった。

普通科においては、大学や専門学校など、コースの特性を生かして上級学校への進路希望の実現を図るとともに、情報科においても生徒のニーズに応じて、進学、就職に対応できるよう、専門教育を中心にした学習内容の充実に取り組んでいる。また、ハンドボールや陸上競技、自転車競技などスポーツの伝統校でもある。

施設の概要

(平30. 5. 1現在)

番号	学 校 名	生徒数	教員数	学級数	建 物 保 有 面 積 (㎡)		校地面積 (㎡)
					校 舎	屋内運動場	
1	必 由 館	1,067	68	27	14,504		46,219
2	千 原 台	596	47	15	7,254	3,774	62,773
合 計		1,663	115	42	21,758	3,774	108,992

オ 特別支援学校

平成さくら支援学校概要

平成29年4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とする特別支援学校高等部である。普通科・一般学級を設置しており、1学年3学級編制である。

「自立・夢・挑戦」を校訓とし、夢を育み、何事にも挑戦していく生徒の育成をめざし、卒業後の自立と社会参加に向けて、家庭や地域と連携して、一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を進めている。

本市における特別支援教育の充実に向け、学校を含む関係機関や保護者に対して、研修及び教育相談等の拠点機能を担っている。

施設の概要

(平30. 5. 1現在)

学 校 名	生徒数	教員数	建 物 保 有 面 積 (㎡)		校地面積 (㎡)
			校 舎	室内運動場	
平成さくら支援学校	42	22	4,746	971	21,602

カ 専修学校

総合ビジネス専門学校概要

昭和24年に創立して70年目を迎える。平成3年に新町段山校舎より上熊本の現在地に移転した。建学の精神は「無名にして有力 役に立つ人間」。卒業生は8,200名を超え地元企業でなくてはならない存在として活躍している。全国に2校しかない「商業系公立専門学校」で就職率は高く地域に貢献している。

総合ビジネス科（昼間学科2年専門課程）は、情報ビジネス、経理ビジネス、観光サービスの3コースがあり、簿記・情報・観光に関する「社会のニーズに応えるビジネス実務教育」と、ビジネスマナー・教養・熊本地域経済等の「社会人としての人間教育」をめざしている。卒業時に「専門士」の称号を得て、短大卒と同等の待遇を受ける。

OA経理科（夜間等学科1年一般課程）は、簿記と情報のビジネス実務教育を行う。専門的知識や技能の修得を通して生涯学習を楽しむ方や、企業に貢献することをめざす方が学ぶ。

施設の概要

学 校 名	生徒数	教員数	建 物 保 有 面 積 (㎡)		校地面積 (㎡) (平30. 5. 1現在)
			校 舎	屋内運動場	
総合ビジネス専門学校	128	11	3,727		4,399

キ 校舎の整備状況

(平30. 5. 1現在)

区 分		校 舎 面 積 (㎡)				普 通 教 室 数				特 別 教 室 数			
		学 校 数	基 準 面 積	保 有 面 積	過 不 足 面 積	学 校 数	基 準 数	保 有 数	過 不 足 数	学 校 数	基 準 数	保 有 数	過 不 足 数
小 学 校	基 準 未 満	58	300, 387	250, 085	△50, 302	33	748	657	△91	36	376	270	△106
	基 準 以 上	34	140, 912	163, 129	22, 217	59	910	920	10	56	525	725	200
	合 計	92	441, 299	413, 214	△28, 085	92	1, 658	1, 577	△81	92	901	955	94
中 学 校	基 準 未 満	25	150, 552	118, 862	△31, 690	19	361	300	△61	12	167	118	△49
	基 準 以 上	18	85, 582	97, 918	12, 336	24	330	335	5	31	408	523	115
	合 計	※43	236, 134	216, 780	△19, 354	※43	691	635	△56	※43	575	641	66

※学校数は分校を含む

ク 屋内運動場の整備状況

(平30. 5. 1現在)

区 分		学 校 数	基 準 面 積 (㎡)	保 有 面 積 (㎡)	過 不 足 面 積 (㎡)
小 学 校	基 準 未 満	76	84, 244	61, 674	△22, 570
	基 準 以 上	16	15, 196	16, 249	1, 053
	合 計	92	99, 440	77, 923	△21, 517
中 学 校	基 準 未 満	35	44, 100	31, 893	△12, 207
	基 準 以 上	9	10, 580	12, 201	1, 621
	合 計	※43	54, 680	44, 094	△10, 586

※学校数は分校を含む

(5) 特別支援学級設置状況 (総合支援課・教職員課)

(平30. 5. 1現在)

区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学級数	児童数	教員数	学級数	生徒数	教員数	学級数	児童生徒数	教員数
知的障害学級	113	532	155	55	239	75	168	771	230
自閉症・情緒障害学級	126	581	169	68	366	98	194	947	267
肢体不自由学級	23	34	27	10	12	10	33	46	37
院 内 学 級	4	11	5	2	3	5	6	14	10
病 弱 学 級	19	25	19	9	10	9	28	35	28
弱 視 学 級	4	4	4	0	0	0	4	4	4
難 聴 学 級	12	22	13	4	6	4	16	28	17
合 計	301	1, 209	392	148	636	201	449	1, 845	593

(6) 中学校卒業者の進路状況 (指導課)

(平30.5.1現在)

区分 進路別			男	女	合計	比率 (%)
卒 業 生 総 数			3, 391	3, 258	6, 649	100
進 学 者	高等学校 の本科	全日制	3, 181	3, 146	6, 327	95. 16
		定時制	27	9	36	0. 54
		通信制	67	74	141	2. 12
	高等専門学校		94	10	104	1. 56
	合 計		3, 369	3, 239	6, 608	99. 38
	専修学校・各種学校 公共職業訓練施設等		8	5	13	0. 2
就職者（含自家営業）		6	4	10	0. 15	
無 業 者		1	1	2	0. 03	
未 定		7	9	16	0. 24	

(7) 熊本市奨学金制度 (学務課)

ア 目的 経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対して、奨学金を貸し付け、社会に貢献し得る人材を育成する。

イ 貸付要件 次の要件をすべて満たす者

- ・熊本市に居住する者の被扶養者であること。
- ・学校教育法に規定する学校等 (高校、高専、大学、短大、専修学校の高等課程及び専門課程) に在学していること。
- ・経済的理由により修学が困難であると認められること。
- ・国、他の地方公共団体若しくはその他の団体からの奨学金 (貸付けによるものに限る。) 又はこれと同種の貸付けを受けていないこと。

ウ 貸付金額及び定数

区 分	定数 (人)	種別	貸付月額	自宅外通学生 加算額 (月額)	第1学年加算額 (初回のみ)
高等学校 高等専門学校 専修学校 (高等課程)	380	国・公立 私 立	18,000円 30,000円	—	50,000円 100,000円
大学 短期大学 専修学校 (専門課程)		国・公立 私 立	42,000円 51,000円	6,000円 10,000円	150,000円 200,000円

注1 加算は、申請に基づき付加する。

注2 申請により、貸付月額を2分の1に相当する額に減額することができる。

エ 貸付期間 在学する学校等の正規の修学年限

オ 返 還 奨学金の貸付終了後、決められた期間内で、貸し付けを受けた総額を年賦・半年賦・月賦のいずれかの方法で返還する。(無利子)

(8) 就学援助費 (学務課)

経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒について、就学に必要な費用を援助することにより、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

認定率・援助総額の推移

年度 区分		25		26		27		28		29	
児童生徒数 (人)	小学校	40,924	61,455	40,934	61,266	40,790	61,061	40,236	60,090	40,747	60,321
	中学校	20,531		20,332		20,271		19,854		19,574	
認定者数 (人)	小学校	5,645	9,067	5,715	9,126	5,889	9,365	6,093	9,532	6,005	9,326
	中学校	3,422		3,411		3,476		3,439		3,321	
認定率 (%)	小学校	13.8	14.8	14.0	14.9	14.4	15.3	15.1	15.9	14.7	15.5
	中学校	16.7		16.8		17.1		17.3		17.0	
援助総額 (千円)	小学校	366,718	715,371	400,147	767,092	413,238	786,511	417,805	796,248	428,111	807,297
	中学校	348,653		366,945		373,273		378,443		379,186	

平成29年度支給実績

(単位 円)

	小学校	援助総額	中学校	援助総額
学用品費等	1年 12,990	85,918,094	1年 24,590	84,486,959
	2～6年 15,220		2・3年 26,820	
補助教材費	1年 4,400	23,895,249	1年 7,000	17,130,127
	2・5・6年 4,000		2年 4,400	
	3・4年 4,300		3年 4,700	
新入学児童生徒学用品費	20,470	23,293,170	23,550	41,548,350
30年度入学前支給	40,600		47,400	
修学旅行費	実費	22,008,358	実費	61,507,656
通学費	実費	35,180	実費	44,870
医療費	実費	6,041,305	実費	2,147,471
学校給食費	実費	261,430,176	実費	164,796,548
校外活動費	実費	5,489,034	実費	7,524,179
合計		428,110,566		379,186,160

(9) 私学助成 (学務課)

(単位 千円)

年度 区分	25	26	27	28	29
高等学校	31,086	31,251	31,529	29,999	29,999
中学校					

(10) 国際交流の推進

アメリカ合衆国サンアントニオ市（姉妹都市）との交換留学制度（教育政策課）

ア 熊本市からの派遣（平成29年度）

派遣人員	在 籍 校	派 遣 先
高校生 4名	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校	セントアンソニーカトリック高校 インカーネーション高校

イ サンアントニオ市からの受入（平成29年度）

受入人員	在 籍 校	受 入 先
高校生 3名	セントアンソニーカトリック高校 インカーネーション高校	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校

(11) 学校給食（健康教育課）

ア 実施状況

（平30.5.1現在）

区 分	種 類	実施校数	児童生徒数	給 食 費	給食関係職員	
					栄養教諭等	給食技師
小学校	完全給食	92校	41,045人	1食単価243円	48人	109人
中学校	完全給食	42校	19,077人	1食単価295円	20人	12人

(注)昭和40年4月4日 全市標準献立及び給食物資共同購入（一般物資）開始
 昭和55年4月1日 週1回の米飯給食を開始
 昭和58年4月1日 週2回の米飯給食を開始
 平成5年1月11日 週3回の米飯給食を開始（旧飽託4町は昭和60年から週3回）
 平成17年4月 共同調理場の2施設において、平成17、18年度の2ヵ年で民間委託のモデル事業を実施
 平成19年4月 藤園、日吉共同調理場で民間委託を本格開始
 平成20年4月 出水南、井芹、長嶺共同調理場を民間委託
 平成20年10月6日 共同調理場17施設（合併により1施設増加）、給食室71施設
 平成21年4月 東、託麻、武蔵、龍田共同調理場を民間委託
 平成22年3月23日 共同調理場18施設（合併により1施設増加）、給食室81施設（合併により10施設増加）
 平成22年4月 城西、西原、京陵、城南共同調理場を民間委託
 平成25年4月 共同調理場16施設（2施設閉鎖）、給食室86施設（給食室新設により5施設増加）
 平成26年4月 共同調理場15施設（1施設閉鎖）、給食室88施設（給食室新設により2施設増加）
 平成27年4月 給食室87施設（1施設閉鎖）、白坪小、清水小、御幸小、帯山小、高平台小、託麻東小、出水南小、託麻南小、長嶺小の単独調理場を民間委託
 平成28年4月 給食室88施設（1施設増加）、城西小、画図小、託麻原小、白山小、尾ノ上小、託麻西小、川上小、北部東小、力合西小の単独調理場を民間委託
 平成29年4月 給食室86施設（学校の統廃合により2施設減少）、共同調理場14施設（1施設閉鎖）
 平成30年3月31日 共同調理場13施設（1施設閉鎖）
 平成30年4月 給食室85施設（学校の統廃合により1施設減少）、健軍小、西原小、山ノ内小、城山小、田迎南小、田迎西小、龍田小の単独調理場を民間委託

イ 学校給食共同調理場

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

施 設 名 開 設 年 月	所 在 地	延床面積 (㎡)	給食開始年月日	現在の給食数		対象校
東共同調理場 昭和 48 年 4 月	東区東町 3 丁目 3 番 2 号	1,169.37	昭和 48 年 5 月 15 日	3,504	550	東野中
					917	錦ヶ丘中
					422	東町中
					564	桜木中
					763	益城中
					287	木山中
西原共同調理場 昭和 53 年 4 月	東区保田窪 4 丁目 9 番 1 号	467.09	昭和 53 年 6 月 1 日	2,511	698	西原中
					1,013	帯山中
					800	広安西小
城西共同調理場 昭和 53 年 4 月	西区小島 8 丁目 17 番 1 号	368.27	昭和 53 年 6 月 1 日	963	235	城西中
					607	三和中
					121	県立かがやきの森支援学校
京陵共同調理場 昭和 54 年 4 月	中央区京町本丁 1 番 14 号	459	昭和 54 年 6 月 1 日	1,997	715	京陵中
					344	竜南中
					647	白川中
					291	藤園中
日吉共同調理場 昭和 54 年 9 月	南区日吉 1 丁目 4 番 50 号	450	昭和 54 年 10 月 15 日	1,665	487	花陵中
					255	江南中
					309	江原中
					544	力合中
					69	平成さくら支援学校
武蔵共同調理場 昭和 56 年 4 月	北区武蔵ヶ丘 4 丁目 19 番 1 号	519.1	昭和 56 年 5 月 11 日	1,438	389	武蔵中
					573	清水中
					476	益城中央小
出水南共同調理場 昭和 58 年 4 月	中央区出水 7 丁目 86 番 1 号	612.39	昭和 58 年 5 月 9 日	2,990	579	出水南中
					935	出水中
					444	湖東中
					1,032	託麻中
井芹共同調理場 平成 2 年 6 月	西区上熊本 3 丁目 28 番 25 号	472.82	平成 2 年 6 月 1 日	1,570	307	井芹中
					571	西山中
					692	北部中
長嶺共同調理場 平成 5 年 4 月	東区長嶺南 7 丁目 21 番 40 号	569.39	平成 5 年 4 月 26 日	2,621	1,016	長嶺中
					456	二岡中
					409	東部中
					740	広安小
龍田共同調理場 平成 6 年 4 月	北区龍田 7 丁目 9 番 16 号	520.08	平成 6 年 4 月 18 日	1,230	644	龍田中
					421	楠中
					165	桜山中
城南共同調理場 平成 8 年 4 月	南区八幡 8 丁目 1 番 1 号	471.04	平成 8 年 5 月 1 日	1,040	438	城南中
					417	日吉中
					185	天明中
富合共同調理場 平成 11 年 3 月	南区富合町清藤 472 番地	582.019	平成 11 年 4 月 1 日	1,398	359	富合中
					745	富合小
					294	飽田中
植木共同調理場 平成 19 年 3 月	北区植木町広住 342 番地 1	1,188.74	平成 19 年 4 月 11 日	1,845	336	鹿南中
					315	五霊中
					160	植木北中
					445	植木小
					262	菱形小
					313	桜井小

(12) 熊本市学校給食会 (健康教育課)

名 称	公益財団法人 熊本市学校給食会
事務所の所在地	中央区新町2丁目4番27号 熊本市健康センター新町分室2階
設 立 年 月 日	平成8年4月2日
目 的	学校給食法に基づき学校給食の普及・充実と食育推進に寄与するため、学校給食用の物資の適正・円滑な供給に努め、もって児童生徒の心身の健全な発達に資する。
事 業	学校給食用物資の適正円滑な供給及び食育推進 ・ 物資購入委員会、青果物査定会、食肉査定会の開催 ・ 市産品導入の推進 ・ 特別栽培 (減農薬) 農産物等の導入推進 ・ 学校給食交流会の支援 ・ 学校給食用物資の生産地視察
	学校給食の普及・奨励 (改善・充実) ・ 登録業者工場視察及び学校給食用物資納入懇談会の開催 ・ 納入業者対象の食品安全衛生研修会の開催
	学校給食の実施に必要な調査研究 ・ 学校給食用物資の定期検査及び放射能検査
	その他目的を達成するために必要な事業
基 本 財 産	100,000千円

(13) 熊本市教育センター

ア 施設・設備の概要

所 在 地	中央区千葉城町2番35号
建 築 規 模	敷地 1,500.92㎡ 駐車場 自動車 20台分 鉄筋コンクリート4階建 延床面積 2,020㎡
総建築事業費	815,000千円
工 期	昭和61年7月18日～昭和62年7月27日
施 設 内 容	5階 機械室 4階 大研修室 3階 第1研修室 第2研修室 第3研修室 ICT支援室 2階 第4研修室 中研修室 図書・資料室 ICT研修室 (ノートPC30台・タブレット型PC10台) 1階 第5研修室 第7研修室 多目的研修室 所長室 事務室 教育情報室 地階 機械室

イ 研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る教育機関と協力し教育上必要とする調査研究等を行い、成果の普及に努める。

調査研究

① 研究員活動

本市の教育施策にもとづき、教科領域等の授業改善、今日的課題解決及び学校事務運営に関する研究に取り組み、成果を積極的に現場に提供することで熊本市教育の充実と振興に役立てる。

- ・ 平成28年度委嘱研究員 17部会55人（委嘱期間 平28.6～平30.8）
- ・ 平成30年度委嘱研究員 8部会25人（委嘱期間 平30.4～平32.8）
- ・ 検証授業の実施
- ・ 派遣研修の実施

② 研究論文・教育実践募集

教職員の研究論文・教育実践を公募することにより、今日的教育課題の先進的研究や日々の教育実践の工夫・改善を促し、教職員の資質向上及び本市教育の充実・発展を図る。また、研究や実践の成果を広め、活用することにより、本市の発展に寄与する。

- ・ 提出期間 平成31年1月4日～1月10日
- ・ 各部門ごとに表彰を行う。

情報提供

① 資料の管理

熊本市教育センターに保管している書籍、教科書、研究紀要、指導案等の教育資料を管理し、学校現場等に貸し出すことで、学校教育及び社会教育の充実に資する。

- ・ 指導案、研究紀要の収集、保管、提供（データベース化）
- ・ 教育に関する書籍や教育資料の収集・整理及び閲覧・貸出

② 教材・機器の管理・貸出

授業における補助教材・資料の作成、学校行事等で使用する資料の作成や、授業及び学校行事等で使用する教育機器の貸出・管理、学校等における教育活動の支援を行う。

- ・ 拡大印刷機、カラーコピー機、ラミネート加工等による教材作成
- ・ プロジェクター、スクリーン、ビデオ教材等の貸出

教科書センターに関する事業

教科書センターは、教職員に対しては、教科書の調査研究の支援、学習指導のための資料提供、教科内容の常時研究に資するため、小学校及び中学校用の教科書を備え、利用に供することを目的とする。また、市民に対しては、教科書や教科に対しての理解を深めることを目的とする。

- ・ 熊本県主催教科書展示会 平成30年6月15日～6月28日

各教育研究所との連携

熊本県立教育センター、熊本県教育研究所連絡協議会、九州地区教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、全国教育研究所連盟との連携を深め、研究成果を共有する。

ウ 少人数学級・少人数指導推進に関する事業

- ・ 少人数指導モデル校（２校）による公開授業と授業研究会
- ・ 「少人数指導のよさを生かした授業づくり」「少人数指導の効果的な運営の工夫」を柱とした研究の推進
- ・ パッケージ研修による校内研修支援
- ・ ホームページや広報紙を通しての広報活動の実施

エ 研修に関する事業

研修を通して教職員のマネジメント力・実践的指導力・教師としての基盤の向上を目指すとともに、学校教育と家庭教育、社会教育の連携を図る。なお、教育の情報化に関する研修の一部は、教育情報室が担当する。

ＯＪＴ推進（現場で実際の業務を通じて学ぶ）研修

- ・ 研究指定校、研究モデル校、研究員活動
- ・ 派遣（パッケージ）研修
- ・ 教育情報の配信・提供

ＳＤ（自己啓発）活性化支援研修

- ・ 教科等教育・実技研修（１４講座）
- ・ カウンセリング研修（１講座）
- ・ 教育の情報化研修（６講座）
- ・ 授業づくりセミナー（１講座）
- ・ 特別支援教育研修（３講座）
- ・ トワイライト研修（１６講座）
- ・ 教師塾「きらり」

ＯＦＦ－ＪＴ（学校外）研修

- ・ 経年者研修
 - 初任者研修（１３講座） 初任校（２年目）研修（３講座）
 - 初任校（３年目）研修（２講座） 中堅教諭等資質向上研修（９講座）
 - 教職員１年目研修（５講座）
 - １５年経験者研修（４講座）
 - 新規臨採研修（６講座） ２年目臨採研修（３講座） ３年目臨採研修（２講座）
- ・ 教育講演会（１講座）
- ・ 課題別研修（１講座）
- ・ 職能研修（１１講座）
 - 情報教育担当者研修（１講座） 情報モラル教育推進リーダー研修（１講座）
 - 幼児教育研修（２講座） 新任管理職研修（６講座）
- ・ 学校ホームページ担当者ＣＭＳ研修（１講座）

社会教育関係研修

- ・ 家庭教育研修（２講座）
- ・ 校区老人クラブ研修（１講座）

オ 教育委員会の情報施策の推進に関する事業（教育情報室）

教育委員会におけるＩＣＴ活用及び情報機器の整備促進を図るため、平成３０年度から教育情報室を設置し、教育の情報化推進に取り組む。

教育の情報化に関すること

- ・ 教育の情報化推進計画の策定
- ・ 教育の情報化推進に向けての企画調整
- ・ 学校におけるＩＣＴ環境整備
- ・ 研究指定校（教育の情報化２校）による研究
- ・ 校務の情報化推進のための調査研究

研修プログラムの開発

- ・ 電子黒板、デジタル教科書等ＩＣＴのよさを生かした授業づくり研修及び校内研修支援のためのパッケージ研修の開発
- ・ 情報活用能力育成のための研修開発
- ・ 情報モラル教育の啓発と普及研修開発
- ・ 情報モラル教育推進リーダー研修

教育の情報化研修講座

- ・ 教育の情報化に関する研修講座の実施 ※一部「エ 研修に関する事業」を担当
- ・ パッケージ研修による教科等指導におけるＩＣＴ活用、児童生徒の情報活用、情報モラル教育等の校内研修支援

教育情報ネットワークの企画管理運用

- ・ ネットワークの運用管理及び最適化
- ・ 情報端末管理
- ・ 教育センターホームページ運営
- ・ ＩＣＴ支援員による授業及び校内研修等の支援、メンテナンス

情報セキュリティ

- ・ 情報セキュリティ対策実施手順の作成
- ・ 学校等のセキュリティ研修

（１４）平成３１年度全国高等学校総合体育大会（健康教育課 全国高校総体推進室）

全国高等学校体育連盟が高校生最大のスポーツの祭典として大会を開催するもので、平成３１年度は熊本・鹿児島・宮崎・沖縄の南部九州ブロックでの開催が決定している。なお、本市においては８月に剣道及び水泳（競泳）の２競技２種目が開催される。

また、この事業は教育活動の一環として高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的としている。

4 図書館

本市では、熊本市立図書館を中心とし、分館3館（植木図書館、城南図書館、とみあい図書館）、くまもと森都心プラザ図書館、15公民館図書室、男女共同参画センターはあもにい、議会図書室及び移動図書館による図書サービスネットワークを構築し、図書サービスの向上に努めてきた。

また、市全体での図書サービス業務の改善や取り組みの方向性を整理した「図書サービスのあり方について」を平成27年3月に策定し、より市民に利用される図書館となるよう図書サービスの向上に取り組んでいる。

主な平成29年度実施事業

資料の充実：熊本市立図書館、分館、くまもと森都心プラザ図書館、公民館図書室の選書購入を一元的に行い、各図書館の機能や公民館図書室の利用傾向等を考慮した資料を収集

サービスの充実：熊本連携中枢都市圏ビジョンに基づく「図書館における圏域住民の相互利用」において連携する全市町村との相互利用を開始

電話による予約受付、全館での雑誌のバックナンバー貸出を開始

子どもの読書推進：子どもの発達段階に応じたおはなし会・紙芝居や読書への関心を高める多様な行事を開催
乳幼児期、小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けの良書を紹介した冊子等を作成・配布し、掲載図書の学校へのセット貸出等を実施

熊本地震対策：避難所への本の提供、おはなしボランティア派遣

拠点避難所の補完施設として集会室を提供

生活支援貸付受付窓口として、ホールを提供

熊本地震関係資料の収集

ア 施設

所在地	中央区大江6丁目1番74号
開館年月	昭和57年11月
敷地面積	3,867.95㎡
建築面積	2,665.85㎡
延床面積	5,230.76㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上2階（一部地下）
建設費	1,311,000千円
施設の概要	一般閲覧室、児童室、郷土・参考資料室、移動図書館車、ホール、集会室、ロビー、学習室

イ 蔵 書 数

【単位：冊】（平30.3.31現在）

	0：総記	1：哲学	2：歴史	3：社会	4：自然	5：技術	6：産業	7：芸術
市立図書館	18,607	19,593	51,166	69,259	36,186	32,197	16,385	44,613
市立BM	56	387	508	664	598	800	343	508
植木図書館・BM	1,037	2,516	4,810	8,225	4,691	4,717	1,930	3,866
城南・BM	1,313	4,064	5,876	9,760	8,627	7,727	2,960	6,801
とみあい	1,294	2,184	3,965	6,033	5,754	6,672	2,186	5,327
プラザ図書館	9,515	19,547	26,839	63,423	30,400	33,180	17,187	29,601
東部	342	777	2,000	1,794	2,212	2,594	660	1,981
龍田	414	838	2,523	2,421	2,664	2,616	868	2,772
託麻	468	780	2,175	2,189	2,711	2,723	846	2,682
幸田	349	762	1,858	2,095	2,288	3,097	853	2,220
中央	257	548	1,045	1,582	1,234	1,570	414	1,193
清水	416	914	2,220	2,120	2,306	2,697	814	2,629
秋津	391	991	2,164	2,166	2,230	2,734	789	3,097
南部	334	953	1,693	1,980	2,217	2,958	725	2,252
花園	217	683	1,934	1,497	2,041	2,606	616	2,044
北部	309	505	1,096	1,213	1,369	1,828	428	1,179
河内	287	641	1,219	1,471	1,723	2,257	691	1,716
天明	323	629	1,131	1,473	1,520	2,160	656	1,573
飽田	501	950	1,986	2,140	2,313	3,110	1,041	2,458
西部	264	705	1,718	1,638	2,234	2,800	785	1,768
五福	160	394	868	1,019	1,215	1,642	409	1,055
はあもにい	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	36,854	59,361	118,794	184,163	116,533	122,685	51,586	121,335
比率（％）	2.4%	3.8%	7.7%	11.9%	7.5%	7.9%	3.3%	7.8%

※BM・・・移動図書館

	８：語学	９：文学	F：小説	E：絵本	紙芝居	コミック	その他	総数
市立図書館	8,694	98,186	89,938	60,945	3,015	2,345	103	551,232
市立BM	91	799	2,382	752	33	0	0	7,921
植木図書館・BM	1,020	7,396	14,991	9,489	699	771	0	66,158
城南・BM	2,268	9,783	17,295	9,240	233	71	15	86,033
とみあい	1,067	20,726	14	8,038	155	772	93	64,280
プラザ図書館	7,613	35,178	39,240	14,556	0	0	1,108	327,387
東部	409	3,984	7,752	7,429	34	0	1	31,969
龍田	503	5,089	7,839	5,602	0	3	0	34,152
託麻	453	5,191	7,809	5,523	0	0	0	33,550
幸田	424	4,066	8,966	5,840	86	0	3	32,907
中央	293	3,695	3,557	2,217	0	0	0	17,605
清水	381	4,536	8,653	6,204	18	1	0	33,909
秋津	388	4,822	8,583	5,409	59	5	0	33,828
南部	405	4,453	10,057	5,316	33	8	0	33,384
花園	398	4,719	9,201	5,119	263	1	0	31,339
北部	220	2,882	6,906	4,572	0	0	0	22,507
河内	291	2,710	6,856	4,047	0	8	1	23,918
天明	301	2,684	7,603	3,925	125	0	0	24,103
飽田	482	3,801	7,633	5,487	97	22	0	32,021
西部	372	3,252	8,113	5,311	83	0	0	29,043
五福	244	1,691	4,639	3,304	0	0	0	16,640
はあもにい	0	0	0	0	0	0	18,944	18,945
合計	26,317	229,643	278,027	178,325	4,933	4,007	20,268	1,552,831
比率（％）	1.7%	14.8%	17.9%	11.5%	0.3%	0.3%	1.3%	100%

※視聴覚資料の蔵書数（13,706点）、雑誌（8,472冊）は含まない。

※その他 新聞19紙 雑誌426誌（寄贈分含）

ウ 利用案内

図書の貸出

区 分	貸 出 冊 数		貸出期間	登 録 要 件
個人貸出	熊本市立図書館 植木図書館 とみあい図書館 城南図書館 プラザ図書館 公民館図書室 はあもにい 議会図書室	全館（室）合 せて一人10冊 以内	2週間	市内に居住し、通勤し又は通学する者 登録者数 220,723人 (平成30年3月31日現在)
	移動図書館		次回巡回日まで	
団体貸出	家庭文庫、子ども会、 公民館、学校 等	一回に300冊まで	2ヵ月	市内の地域団体、社会教育団体、 その他これらに類する団体等

視聴覚資料及び機材の利用

	対 象	資料及び機材	利 用 方 法
個人視聴	個 人	ビデオソフト・DVD	1F・閲覧室で利用 (視聴覚ブース：一般席・児童席各1席)
団体貸出	市内の幼・保育園・学校・ 社会教育団体・地域団体等	16ミリ機材・フィルム ビデオソフト・デッキ 映写機、スクリーン 暗幕必要枚数・プロジェクター	資料：5巻以内 機材：1台 貸出期間：3日間

エ 利用状況

図書の利用状況

(平成29年度)

区 分	市立図書館 (BM含)	植木図書館 (BM含)	城南図書館 (BM含)	とみあい 図書館	プラザ 図書館	公民館図書室	
						東 部	龍 田
登録者数(人)	92,810	9,507	7,468	5,045	32,045	10,721	6,627
貸出者数(人)	244,516	47,861	55,240	26,377	121,227	53,282	26,575
貸出冊数(冊)	914,662	223,776	245,989	122,231	424,880	184,630	96,703

区 分	公民館図書室							
	託 麻	幸 田	中 央	清 水	秋 津	南 部	花 園	北 部
登録者数(人)	7,519	7,127	2,036	7,346	5,234	5,511	5,026	3,224
貸出者数(人)	30,739	24,510	0	29,464	21,264	17,754	21,105	11,646
貸出冊数(冊)	120,788	93,932	0	110,655	84,198	61,858	77,652	41,956

区 分	公民館図書室					議会図書室	はあもにい	計
	河 内	天 明	鮑 田	西 部	五 福			
登録者数(人)	831	1,327	2,727	5,697	1,829	0	1,066	220,723
貸出者数(人)	2,122	4,407	9,847	21,792	11,603	2,686	9,126	793,143
貸出冊数(冊)	7,115	13,721	35,515	82,801	33,563	5,095	23,183	3,004,903

(注) 団体貸出冊数を含む。 ※BM・・・移動図書館

視聴覚コーナー利用状況

(平成29年度)

区 分	ビ デ オ	D V D	合 計
利用者数 (人)	562	406	968
保有数量 (枚・本)	1,281	650	1,931

視聴覚機材貸出状況

(平成29年度)

区 分	16ミリ フィルム	16ミリ 映写機	ビデオ	ビデオ プレイヤー	D V D	D V D プレイヤー	プロジェクター
利用者数 (団体)	53巻	16台	24本	12台	30本	8台	18台

5 熊本博物館

熊本博物館は、昭和27年に熊本城内に設置され、勸業館時代を経て昭和53年に現在の場所に開館した。自然科学・人文科学部門に理工部門及びプラネタリウムを加えた総合博物館として、郷土文化の発展に寄与することを目的とし、熊本に関する資料を中心に収蔵・展示を行ってきた。

しかし、開館から40年が経過し、常設展示物や資料の展示環境について、社会の変化と資料保存や展示技術の向上に的確に対応した新たな展開が必要となったため、政令指定都市にふさわしく、市民や県民、さらに熊本を訪れる観光客にも親しまれる総合博物館を目指し、平成27年7月からリニューアルに着手し現在に至る。

(1) 熊本博物館リニューアルの概要

ア 目的

施設の老朽化や社会変化による展示技術の向上に伴い、新たに博物館の展示環境を見直すことで魅力ある総合博物館として「未来へつなぐ熊本の記憶」を全体のテーマに、総合博物館としての展示構成を基本に展示スペースの増加の工夫や各分野間融合型の展示を行うもの。また、実験工作室等の体験空間を活用しながら、体験型博物館として更なる魅力向上に努め、学校の教育活動との積極的な連携をはかるもの。

イ 概要

①スペースの拡張

延床面積：6,108㎡ ⇒ 7,098㎡ (+990㎡)

②展示・保存環境の改善

温湿度管理ができる特別展示室や収蔵庫の整備・拡張による展示保存環境の改善

③来館者サービス機能の向上

- ・音声と文字による4ヶ国語対応展示解説システム導入
- ・動画や写真を使った展示資料解説補完システムの増強
- ・プラネタリウム番組や各種イベントの案内をわかりやすく表示するデジタルサイネージ導入
- ・プラネタリウム券売機の残席表示システム導入
- ・収蔵品データベース機能の向上 など

④常設展示

展示内容の充実：全体テーマ「未来へつなぐ熊本の記憶」

熊本博物館の特性のひとつに、半世紀を超える運営によって形成された膨大な記録・記憶の蓄積がある。そこでリニューアルした常設展示では、全体テーマを「未来へつなぐ熊本の記憶」とし熊本の歴史や文化、人と自然との深いかわり合いを示しながら各分野間のつながりを意識した展示を行い、長い時間を経た知の蓄積を市民へ楽しく分かりやすく伝え、未来へ継承することを目指す。

また、県市連携展示室も設け、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する貴重な資料も展示し、市・県内外へ展示内容の価値や魅力をアピールする。

⑤展示環境の改善

- ・公開承認施設（重要文化財等の展示に適した施設）を目指した改修
「温湿度管理ができる展示室の整備」
- ・3つの特別展示室の整備
重要文化財等の展示に対応した特別展示室1・2
フレキシブルな展示を行う特別展示室3

ウ 館内展示風景（常設展示）



(2) 活動状況 (平成29年度)

ア 企画展示会

(平30.4.1現在)

※ リニューアル工事に伴う休館中のため未実施

イ 定例展示会・共催展

展 示 会 名	期 間	参観者 (人)
「肥後しゃくやく展」 (於: 塚原歴史民俗資料館)	5/13・14	116
「地質の日 身近に知る『くまもとの大地』」 (於: 天草市民センター)	5/14	約400
肥後朝顔展 (於: 水前寺成趣園内・古今伝授の間)	7/2	未集計
肥後朝顔展 秋の展示会 (於: 熊本市動植物園)	9/2～9/3	未集計

ウ 教室・その他の行事 (本館主催)

行 事 名	内 容	期 日	対 象	参加者 (人)
子ども科学・ものづくり教室	「水中UFOキャッチャーを作ろう」他	4月～3月	小中学生(一般)	901

エ プラネタリウム投映

※ リニューアル工事に伴う休館中のため未実施 (平成27年7月より)

(3) 資料

資 料 分 野	資 料 点 数
地 質	20,097
動 物	58,161
植 物	16,721
理 工	137
考 古	10,217
歴 史	15,049
民 俗	13,135
合 計	133,517

ア 人文科学関係

考古資料では、国指定重要文化財のあさぎり (旧免田) 町才園古墳の出土品 (寄託品)、山崎正董博士の古瓦コレクションなどがある。歴史資料では、加藤清正関係資料、細川氏関係資料ほか近世期古文書類、西南戦争関係資料などがある。美術工芸資料では、重要文化財の木造東陵永瑠禅師倚像 (管理団体: 熊本市) などがある。民俗資料では、元熊本商大学長故丸山学氏の寄贈資料をはじめ県内各地から幅広く民具を収集している。

イ 自然科学関係

岩石・鉱物資料では、元熊大教授故松本唯一博士が全世界から採集されたコレクションがある。貝類では元熊大医学部長故山崎正董博士のコレクションがある。昆虫では故古賀三郎氏の世界の蝶コレクションがある。また、哺乳類・鳥類・魚類・昆虫・植物・古生物化石類など熊本県産の実物標本を中心とした資料がある。

ウ 理工学関係

屋外展示場に、9600形蒸気機関車 (69665号機) の実物がある。

エ プラネタリウム

ドーム直径16m、座席数180席、光学式プラネタリウム「クロノスⅡ」と全天周映像システム「バーチャリウムⅡ」の組み合わせにより、自然の星空を忠実に再現するほか、遠い宇宙の果てまでの姿を観測データを基に高精細に描き出す。また、ドームいっぱいに大迫力の映像を投映する。